

平成 31 年度

# 編入学者募集要項



独立行政法人 国立高等専門学校機構

**木更津工業高等専門学校**

問い合わせ先 学生課教務係

〒 292-0041 千葉県木更津市清見台東 2-11-1

TEL 0438-30-4040 FAX 0438-98-5403

E-mail nyushi@a.kisarazu.ac.jp URL <http://www.kisarazu.ac.jp/>

# アドミッション・ポリシー

※アドミッション・ポリシー …… 入学者選抜の基本的な考え方

木更津高専では、このようなあなたを求めています。

1. 数学や理科などの理数系科目が得意で科学技術及び英語など外国語にも興味・関心がある人
2. 自ら考え、様々な課題に意欲を持って取り組む実行力を身に付けたい人
3. 社会のルールを尊重し、向上心を持って学生生活を積極的に送ろうとする人
4. 将来、指導的立場に立つ技術者として社会の発展に貢献したい人
5. 高等学校において理数系または工学の基礎を習得した人、または教育機関等において同様の学力を獲得したと認められる人
6. 希望する学科の教育目標・教育課程を十分に理解し、社会のルールを尊重し、自主的・積極的に学業に取り組む姿勢を有する人

## 個人情報について

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報および選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

1. 入学後の教育・指導
2. 入学料、授業料の免除申請の審査
3. 奨学金申請の審査
4. 本校および国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

# 平成 31 年度 編入学者募集要項

## 1. 編入学を実施する学科、募集人員及び編入学年

学 科	募 集 人 員	編 入 学 年
機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 電 子 制 御 工 学 科 情 報 工 学 科 環 境 都 市 工 学 科	各学科若干名	第 4 学年

## 2. 出願資格

- (1) 高等学校を卒業した者又は平成 31 年 3 月卒業見込みの者で、出身学校長の推薦する者
- (2) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（学校教育法施行規則第 150 条に該当する者）で、編入学時において 18 歳に達している者

## 3. 願書受付

出願期間

平成 30 年 7 月 9 日（月）～ 7 月 10 日（火）午前 9 時から午後 4 時  
（郵送の場合は、 7 月 10 日（火）午後 4 時必着とする。）

出願先

木更津工業高等専門学校 学生課教務係  
〒292-0041 千葉県木更津市清見台東 2-11-1

※郵送の場合は必ず**書留郵便**とし、封筒の表に「編入学出願書類在中」と朱書きすること。また、82 円切手を貼付した返信用封筒を同封すること。

#### 4. 出願手続

出 願 書 類 等	摘 要
編 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入すること。
推 薦 書 (出願資格(1)のみ)	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したものとする。
調 査 書	出身学校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したものとする。 ※高等学校卒業程度認定試験に合格した者については、調査書の代わりに「合格証明書」及び「合格成績証明書」を提出すること。
卒 業 ま た は 卒 業 見 込 証 明 書	出身学校所定の用紙により作成したものとする。 ※高等学校卒業程度認定試験に合格した者については、提出不要とする。
検 定 料	綴り込みの振込依頼書に氏名及び住所を記入して事前に払い込み、その証明書を検定料振込受付証明書貼付用紙に貼付して提出すること。 ※納付された検定料の返還請求ができるのは、次の場合になります。 ・検定料を納付したが出願しなかった場合 ・検定料を重複で納付した場合
英語の資格に関するもの（希望者のみ）	本校作成試験の受験に代え、「実用英語技能検定（実用英検／英検）」または「TOEIC® L&R」の結果提出により点数換算を行うことを認めます（詳細については「5. 選考方法」参照）。なお、 <u>外部試験による点数換算を申請した者は、本校作成試験を受験することはできなくなるので注意すること。</u> ※当募集要項において、TOEIC® L&R（TOEIC® Listening & Reading Test）については、受験時期により、TOEIC®と読み替えてください。
返 信 用 封 筒	郵便による出願の場合のみ

出願資格(2)の場合は、出願前に「本校学生課教務係」に問い合わせること。

## 5. 選考方法

編入学者の選考は、学力試験（英語については外部試験による代替あり）・調査書・面接の結果を総合して行う。

### (1) 学力試験科目（出題範囲は別表）

数学（基礎）

英語

理科

数学又は志望学科の専門科目

### (2) 英語の資格換算方法

	実用英語技能検定(実用英検／英検)	TOEIC® L&R	
換算方法	3 級 合 格	50 点	計算式：(TOEIC®L&R 得点-200)×0.4  200 点までは 0 点とし、200 点を超える得点については 0.4 を乗じ、小数点以下を切り捨て、100 点を上限とする換算を行う。300 点で 40 点、350 点で 60 点、400 点で 80 点、450 点以上で 100 点となる。
	準 2 級 一 次 合 格	60 点	
	準 2 級 合 格	80 点	
	2 級 一 次 合 格	90 点	
	2 級 以 上 合 格	100 点	
提出方法	和文又は英文の「合格証明書」 (注：「合格証書」ではない)  ※「一次試験のみ合格」の場合には、英検協会より送付された「一次試験個人成績表」又は「二次受験票」を提出のこと。これらを保存していない場合には、本校学生課教務係まで問い合わせること。	「公式認定証 (Official Score Certificate)」  ※TOEIC® L&R IP の場合、2005 年 3 月 31 日以前は「Score Sheet」、2005 年 4 月 1 日以降は「Score Report」になる。	
備考	合格時期は問わない。	受験時期は問わない。 「公開」でも「IP」でもよい。	

### (3) 試験日時

月 日	試 験 科 目	時 間
平成 30 年 7 月 28 日 (土)	(受験者集合)	(8:40)
	数学 (基礎) 100 点	9:00 ~ 9:50
	英語 100 点	10:00 ~ 10:50
	理科 100 点	11:00 ~ 11:50
	数学又は志望学科の専門科目 100 点	13:00 ~ 13:50
	面接	14:00~

(4) 試験場 木更津工業高等専門学校

(5) 健康診断 特に必要と認めた者については別に健康診断を行う

## 6. 選考結果の通知

平成 30 年 8 月 2 日 (木)

本人及び高等学校長あての通知文書を 8 月 2 日 (木) に発送 (速達書留) しますので、到着は 1~2 日後となります (電話による問い合わせには応じない)。

## 7. 入学手続

入学手続きの詳細については合格者に別に通知する。

所定の日時内に入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。

## 8. その他

入学後必要あると認めた科目については補講を実施する。

## 9. 出願上の注意事項

(1) 出願後は、提出した書類の変更、検定料の返還を認めない。

(2) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがある。

## 10. 検定料免除の臨時措置について

本校に入学を志願する者で、平成 30 年度に、その主たる家計支持者の居住地が災害に

よる被災に伴い災害救助法の適用を受け、居住する家屋が被害を受けた場合には、検定料が免除になる場合があります。該当すると思われる場合には、検定料の納入を行う前に学生課教務係へお問い合わせください。

## 11. 問い合わせ先及び出願先

〒292-0041 千葉県木更津市清見台東 2-11-1

木更津工業高等専門学校 学生課教務係

TEL 0438-30-4040 / FAX 0438-98-5403 / E-mail [nyushi@a.kisarazu.ac.jp](mailto:nyushi@a.kisarazu.ac.jp)

(別 紙)

## 試験科目の出題範囲

試験科目		出題範囲
数 学 (基礎)		「数学Ⅰ」 「数学Ⅱ」 「数学A」(確率を除く) 「数学B」のうち、数列、ベクトル(空間におけるベクトルを除く)
英 語		「コミュニケーション英語Ⅰ」 「コミュニケーション英語Ⅱ」 ※リスニング試験は行わない
理 科		「物理基礎」 「化学基礎」 「物理」 「化学」
数学又は 志望学科の 専門科目	数 学	「数学Ⅲ」(積分法を除く) 「数学B」のうち、ベクトル
	機 械 工 学 科	(1)機械に働く力と仕事 (2)材料の強さ及び部材の強さ (3)機械要素と装置 (4)機械材料 (5) 機械工作法
	電 気 電 子 工 学 科	(1)直流回路 (2)電流と磁気 (3)静電気 (4)交流回路
	電 子 制 御 工 学 科	(1)物体の運動とエネルギー (2)電気と磁気
	情 報 工 学 科	(1)電気回路 (2)論理回路 (3)コンピュータの基本構成 (4)数の表現と処理 (5)ソフトウェアの基礎知識 (6)プログラミング技法
	環 境 都 市 工 学 科	(1)静定構造物の計算 (2)静水及び流水の性質